

# 2022 年度 事業計画書

学校法人 白梅学園



## 目 次

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 学校法人白梅学園役員一覧（2022 年 4 月）    | 1  |
| [ I ] 2022 年度理事長方針          | 2  |
| [ II ] 2022 年度部門長方針及び重点取組   | 3  |
| 1. 学園・法人事務局                 | 3  |
| 2. 白梅学園大学／大学院／短期大学          | 4  |
| 3. 白梅学園高等学校                 | 5  |
| 4. 白梅学園清修中学校・中高一貫部          | 6  |
| 5. 白梅幼稚園                    | 7  |
| 設置学校の概要                     | 8  |
| 学園組織図（2022 年 4 月）           | 10 |
| [ III ] 2022 年度の主要な事業計画     | 11 |
| 1. 教育活動の推進                  | 11 |
| 2. 研究活動の推進                  | 12 |
| 3. 学生・生徒・園児支援の推進            | 14 |
| 4. 学生・生徒・園児の確保              | 16 |
| 5. 学園広報の推進                  | 17 |
| 6. 国際交流の推進                  | 18 |
| 7. 生涯学習・社会貢献・地域連携等の推進       | 19 |
| 8. 卒業生との連携等の推進              | 21 |
| 9. 働き方・仕事の仕方の見直し            | 22 |
| 10. 建学の精神の高揚                | 24 |
| 11. 令和充実 5 カ年計画・80 周年記念事業   | 24 |
| 12. 大学・短期大学新棟・施設中長期整備計画     | 26 |
| 13. 財政再建計画                  | 26 |
| 14. ガバナンス強化、意思決定の迅速化・透明性の徹底 | 27 |
| 15. 管理運営（施設改修・更新・労務他）       | 29 |
| 16. 情報化教育/ICT               | 30 |
| 17. 新型コロナウイルス感染症関連          | 31 |
| [ IV ] 2022 年度予算            | 33 |
| 1. 予算編成方針                   | 33 |
| 2. 収支見通し                    | 34 |
| 3. 資金収支予算の概要                | 36 |
| 4. 事業活動収支予算の概要              | 37 |



## 学校法人白梅学園役員一覧（2022 年 4 月）

|       |      |
|-------|------|
| 理 事 長 | 井原 徹 |
|-------|------|

|     |       |
|-----|-------|
| 理 事 | 高田 文子 |
|-----|-------|

|     |       |
|-----|-------|
| 理 事 | 福丸 由佳 |
|-----|-------|

|     |      |
|-----|------|
| 理 事 | 武内 彰 |
|-----|------|

|     |      |
|-----|------|
| 理 事 | 山田 裕 |
|-----|------|

|     |      |
|-----|------|
| 理 事 | 大林 泉 |
|-----|------|

|     |       |
|-----|-------|
| 理 事 | 本山 方子 |
|-----|-------|

|     |       |
|-----|-------|
| 理 事 | 兼清 伸生 |
|-----|-------|

|     |       |
|-----|-------|
| 理 事 | 樋口 秋夫 |
|-----|-------|

|     |       |
|-----|-------|
| 理 事 | 増田 昭一 |
|-----|-------|

|     |      |
|-----|------|
| 理 事 | 長倉 澄 |
|-----|------|

|     |       |
|-----|-------|
| 理 事 | 昼間 守仁 |
|-----|-------|

|     |       |
|-----|-------|
| 理 事 | 西井 泰彦 |
|-----|-------|

|     |       |
|-----|-------|
| 理 事 | 細江 卓朗 |
|-----|-------|

|     |       |
|-----|-------|
| 理 事 | 牧野 光昭 |
|-----|-------|

|     |      |
|-----|------|
| 監 事 | 池田 勝 |
|-----|------|

|     |       |
|-----|-------|
| 監 事 | 金子 武弘 |
|-----|-------|

## **〔Ⅰ〕2022 年度理事長方針**

新型コロナウイルス感染症により、2020 年度、2021 年度と、事業展開に多くの制約を強いられた。2022 年度もオミクロン株の出現による制約は覚悟しなければならないが、ウィズコロナのスタンスで教育研究、経営管理及び地域貢献を推進していく。

### **【創立 80 周年】**

2022 年度は、2022 年 3 月 3 日の創立 80 周年を受けて、記念事業・記念行事の実施、学園史編纂（補遺版）の開始、建学の理念の検証と浸透、記念募金の立ち上げ等の創立 80 周年関係の事業を進める。

### **【各学校の充実発展】**

大学については、昨年度の理事会において承認された「大学・短期大学の改組」に基づき、2024 年度からスタートする新体制を成功させるための準備を行う。

中等教育機関である高等学校、清修中高一貫校の教育内容の充実及び幼稚園の新たな充実発展を展望し、未来を確固たるものにするための具体的な行動を開始する年とする。

### **【財政再建、新棟建設】**

2024 年の大学・短期大学の学科改組の動向を注視しながら、2025 年着工・2027 年竣工予定の「大学・短期大学新棟建設」に向けて、計画の推進及び所要資金の積み立てを計画どおり行う。

また、財政基盤の確立・安定のための諸施策を、引き続き推進する。

### **【ガバナンス強化、意思決定の明確化】**

文部科学省が検討している「学校法人のガバナンス整備」に基づき、学園のガバナンスを一層充実させるための体制を構築する。今後の私学法の改正に関する動向を注視し、理事会と評議員会の関係についても検討を進める。

また、迅速適正な意思決定を目指した経営管理体制の構築も併せて実施し、さらに事務組織の見直しも行い、学園全体のパワーアップを図る。

（理事長 井原 徹）

## [Ⅱ]2022 年度部門長方針及び重点取組

### 1. 学園・法人事務局

2022 年度は、学園の「令和充実 5 カ年計画」（2021 年度～2025 年度）の 2 年目にあたる。大学・短期大学の新棟については、2022 年 6 月に建築委員会の基本構想が理事会に提出される。また、学園創立 80 周年事業の一環としての寄付金募集を一部開始する。オミクロン型等新型コロナウイルス感染症の影響は続くが、感染症対策を実行しながら、学生等の学修機会の確保を行いつつ、「学園の持続的存続・発展」の実現のために、以下の点につき重点で取り組む。

#### (1) 学園

①学園創立 80 周年記念事業につき、募金活動を開始するとともに、行事の具体化に向けて一歩ずつ進めていく（学園史編纂・建学の精神の共有、募金活動、記念式典等）。

#### ②学園広報の推進

学園の取り組みを外部の方々により一層ご理解いただくために、2021 年度はホームページの画面のわかりやすさ、見やすさについて論議を開始し、2022 年度具体化する。併せて、各学校の情報発信体制についても具体化を進める。

③教育活動の一層の発展のため、各学校と学園連携して取り組む。

#### (2) 法人事務局

①学園の持続的存続・発展のため、財政再建に引き続き取り組む。

②若者人口減少の傾向が今後本格化する中、施設整備や事務職員のあり方等に関し、多少の定員割れが生じても学校が持続的存続できるよう、施設の長寿命化に関する計画的な対応や大学・短期大学事務組織の大ぐくり化につき、中期的に一歩一歩進めていく。

#### ③大学事務組織の大ぐくり化

2027 年度大学・短期大学新棟の供用開始の際は、学生へのより一層のサービス向上に向けて大学・短期大学事務組織全体での「ワンストップ窓口」を目指す。そのため、新棟入居までに、事務組織の大ぐくり化、業務の優先順位付け、過去の慣例に基づいた業務の工夫見直し、今後新たにに取り組むべき業務の取り込み等を段階的に取り組む。

④学生・生徒・園児数の安定的確保に向けて引き続き全学で取り組む。

⑤私学法改正の趣旨を踏まえ、ガバナンス強化に取り組む。2022 年通常国会に私学法改正案の上程が予定されている。その内容を踏まえてガバナンス強化に取り組む。

⑥個人情報保護法改正が 2022 年 4 月に施行される。大量データの保有体制につき、現状を把握中だが、管理体制を強化する。

（事務局長 大林 泉）

## 2. 白梅学園大学／大学院／短期大学

これからの時代を生きる学生たちの「変革をもたらすコンピテンシー」（OECD）を本学として明確化、共有化し、カリキュラムや教育活動における実現を目指すとともに、学修者本位の教育の実質化を図ることが中期的な目標である。2022年度は、そのためのシステムの構築を具体的に推し進める。また、2024年度からの改組にむけて、新たな募集戦略を展開し、学生数の安定的確保に努める。

### (1) 教育活動の推進—学修成果指標の策定による「見える化」の構築

教学マネジメント・IR委員会で提示してきた学修成果の獲得状況データを整理し、本学における学修成果指標（アセスメント・ポリシー）を策定することによって、改善サイクルの確立を目指す。学修成果の見える化は、学修者本位の教育の実現のために不可欠であり、卒業生の視点をも取り入れながら、入学から卒業までの一貫した学修の質向上につながる仕組みである。

### (2) 研究活動の推進—知の拠点としての研究の活性化と地域貢献

子ども学研究所の事業（研究調査・地域連携・成果発信）を充実・発展させる。学会等における研究成果の発信のさらなる活性化を目指し、科研費間接経費計画での実施を念頭に、研究・活動発信に関するホームページの充実化に向けて検討を進める。

子ども学アーカイブス（古田家蔵書プロジェクトほか）など知の集積拠点事業については、価値ある財産として整理・発信を継続する。

地域連携では、子育て広場・小平地域連携・西ネットをはじめとするこれまでのつながりを継続・発展させるとともに、小平市・国立市・東村山市などの周辺自治体との連携や専門家としての事業協力に貢献する。さらに大学間連携、国際的視野をもつ取り組み、及びリカレント教育の前進を目指す。

### (3) 学生支援の推進—本学にふさわしい仕組みの継続的展開の模索

学生生活支援については、専門職であるキャンパスソーシャルワーカー職（CSWr）の配置を含めて、組織的な体制強化の方策を検討していく。ポスト・コロナ時代における本学にふさわしい学生支援の在り方を精査し、継続的な仕組みの可能性を模索する。正課外の活動については、学生のキャリア啓発につながるものとの認識から、コロナ禍で脆弱になった主体的意識や人間関係性の再構築にむけて支援していく。

### (4) 建学の精神の共有と歴史的文化情報の整理

学園創立80周年を機に白梅学園の歴史を学び、継承する準備を進める。同時に建学の知的心性である「ヒューマニズムの精神」の理解を深め、変革の中に根付かせる。

（白梅学園大学・短期大学学長 高田文子）



### 3. 白梅学園高等学校

建学の精神である「ヒューマニズムの教育」に基づき、生徒間及び教職員・生徒間の温かく人間的な触れ合いの中で、生徒たちの学力と人間力の伸長を目指す。これまでの実践をもとに、生徒の希望進路の実現に向けて、より組織的な学習指導及び進路指導を推進する。同時に学校行事や部活動などの特別活動を通して生徒たちの帰属意識や成就感・達成感を高めていく。また、丁寧で効果的な広報・募集活動を展開し、本校の教育理念に共感する中学生・保護者に選んでもらえる魅力ある学校づくりを目指す。

#### (1) 教育活動の推進・研究活動の推進

- ①「生徒間の対話」の場面がある授業を推進する。
- ②探究学習（「しらうめ探究プロジェクト」）を円滑に実施する。
- ③危機管理対応として、全校オンライン授業が円滑に実施できるように環境整備を行う。
- ④授業研究、観点別評価研究など、校内研究を充実させる。

#### (2) 生徒支援の推進

- ①高大連携プログラムを充実させる。（オンライン実施を含む）
- ②22 世紀 Shiraume Frontier Project を充実させる。
- ③Classi やキャリア・パスポート等を活用して、生徒の「振り返りと見通し」を重視したキャリア支援を行う。

#### (3) 生徒の確保

- ①教職員・生徒との協働による効果的な広聴活動を実施する。
- ②学校 Web サイトのこまめな更新による情報発信を行う。

#### (4) 国際交流の推進

- ①国際交流の再開へ向けたオンライン交流等を実施する。
- ②国内施設（ブリティッシュヒルズ、TGG 等）を活用した語学研修を実施する。

#### (5) 働き方・仕事の仕方の見直し

- ①部活動指導員の継続配置を行い、教員の負担軽減につなげる。
- ②月ごとの超過勤務一覧の作成・提示を行うとともに、必要な個別面談等を実施する。

#### (6) 建学の精神の高揚

- ①高等学校教育 3 ポリシーの周知に努める。
- ②生徒間及び教職員・生徒間の人間的な触れ合いを重視した教育活動を展開する。

（白梅学園高等学校 校長 武内 彰）

#### 4. 白梅学園清修中学校・中高一貫部

本校の重要課題である財政の健全化にむけて、生徒数確保のための募集対策が最重点の施策である。これまで、学校の特色を明確にし、「6年間一貫教育」「女子教育」「英語教育」を学校の魅力として広報に取り組んできた。さらに、その特色を『見える化』して、事業計画を立案し実行しているところである。

「6年間一貫教育」については、2021年度中学校、2022年度高等学校の改訂学習指導要領の趣旨から、生徒の主体的学びの継続が必要であることを教員間で共通認識することに重点を置く。また、2021年度から中学生一人1台貸与されたタブレット端末を活用して、学力向上を図っていく。

また「女子教育」については、学校説明会に参加した保護者からのアンケートによると、来校者の案内や進行を担当する生徒の姿に好感をもったとの感想が多かった。中学1年生から高校3年生までが、同じ校舎内で活動する中で、身近なところの「ロールモデル」となるあこがれの先輩とともに過ごす魅力を感じ取っていただいている。

さらに、これからの時代に求められる英語によるコミュニケーション能力を育成する英語教育の内容について、学校行事と関連付けたシラバスの改訂を図っていく。

以下、その実現を目指していくために、具体的な施策の概要を以下のとおり進めていく。

(1) 主体的な学びの中から確かな学力を育む

- ・ 中学1年生～3年生 学力推移調査の結果分析をもとに授業改善を目指す。
- ・ 教科を超えて担任が生徒の学習や生活の状況や実態を把握して、適切な指導を行う。
- ・ 学ぶ意欲を持続できる興味や関心が持てる授業を研究する。
- ・ 主体的・対話的で深い学びの授業を実現する。

(2) 女子教育の推進「リーダーシップ・プログラム」（生徒の主体性・自主性を育む）

一人一人の主体性や個性を大切に、生徒の個性を生かした活躍の場を、学校生活や学校行事の中に意図的に取り入れていく。また、異学年で活動することを通して、身近なところに、素敵な先輩がいることに気づき、目標として生活したり学んだりしていく。「あこがれは、いつか自分をそこに押し上げてくれる」

(4) 英語教育の充実

英語の授業週7時間中、5時間はネイティブによる All English の授業で、英語で表現することを楽しめる「英語を使う、使える環境」を実現する。

(5) 日常的な教育活動に ICT 機器の活用

中学校においては、日常的な学びの中で、一人1台のタブレット PC を活用する。また、記録・保存した自らの学びの成果を振り返るなど、主体的な学びの道具として活用させていく。

（白梅学園清修中学校 校長 山田 裕）

## 5. 白梅幼稚園

2022 年度は以下の課題に取り組む。

### (1) 先進的な幼児教育の実践と研究の推進

- ・子ども自ら遊び、探究と協働を深める幼児教育の実践と研究を行う。
- ・そのために、安全で衛生的な保育室及び園環境を整備する。具体的には、上履き、下履き両用箇所の解消、安全で明るく清潔な保育室及び通路の整備、年中組の保育室を1階とするための環境整備などを図る。雨の吹き込みによる浸水への対策を図る。
- ・加えて、衛生的で安全な遊具や道具の導入にむけて、破損や損傷、安全に支障のある遊具等の更新を進める。保育室を広く可変的に使用できるように、物の配置を見直す。
- ・保育の充実のために、基本的な ICT 環境を整備する。具体的には、年中組及び年長組を中心にモニターとタブレット端末を配置する。また、行事や各種説明会、研修等でプロジェクター投影の効果を高める工夫を行う。
- ・園内研究会やカリキュラム会議、他園の参観など、教員研修の強化を図る。
- ・他園や大学・短期大学等との交流を推進し、教員研修を充実させる。
- ・研究の成果を取りまとめ、公開保育会の実施や紀要の発行などを通して、幼児教育の提案を行う。
- ・園史関係資料を収集、整理し、研究に資するための環境を整備する。

### (2) 大学・短期大学の教育・研究との連携・協力の強化

- ・大学・短期大学の教育・研究の場として幼稚園のさらなる活用を図るとともに、学術研究の成果の還元を受けて、幼児教育の実践や研究を充実させる。
- ・大学・短期大学との連携・協力の強化と円滑化に向けた方策について、大学・短期大学と協議する場を設け、大学附属幼稚園としての先導的な在り方を構想する。
- ・学生ボランティアの受け入れや、学生が積極的に進める企画への参加を通して、学生と園児との交流を推進する。

### (3) 白梅幼稚園の広報活動の充実

- ・ホームページの刷新や広報誌等の充実、ネットワーク環境の積極的複合的活用を図り、地域や保護者、幼児教育関係者等に向けた本園の諸活動の広報を充実させる。
- ・保育参観や園見学への対応を充実させる。
- ・関係機関と連携を図り、地域との交流を図る。

### (4) 2 歳児クラスの再編と充実

- ・2 歳児の発達と利用状態に応じて、柔軟にクラスを再編し、活動の充実を図る。
- ・保護者への支援を通して、次年度の入園に向けて、信頼関係を形成する。

### (5) 預かり保育の受入促進と充実

- ・預かり保育への希望者の増加に対応するとともに、預かり保育での過ごし方や活動などを見直し、充実させ、社会的ニーズを踏まえて保護者の支援を積極的に行う。

(白梅幼稚園 園長 本山方子)

## 設置学校の概要

### 白梅学園大学大学院

| 研究科・専攻科名 |      | 入学定員 | 収容定員 |
|----------|------|------|------|
| 子ども学研究科  | 修士課程 | 15   | 30   |
|          | 博士課程 | 7    | 21   |
| 合 計      |      | 22   | 51   |

### 白梅学園大学

| 子ども学部 | 学科名       | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 |
|-------|-----------|------|-------|------|
|       | 子ども学科     | 135  | 10    | 560  |
|       | 発達臨床学科    | 50   | 10    | 220  |
|       | 家族・地域支援学科 | 40   | 10    | 180  |
| 合 計   |           | 225  | 30    | 960  |

### 白梅学園短期大学

| 学科科名 | 入学定員 | 収容定員 |
|------|------|------|
| 保育科  | 95   | 190  |
| 合 計  | 95   | 190  |

### 白梅学園高等学校

|          |         | 入学定員 | 収容定員  |
|----------|---------|------|-------|
| 全日制課程普通科 | 高等部     | 280  | 840   |
|          | 清修中高一貫部 | 60   | 180   |
| 合 計      |         | 340  | 1,020 |

### 白梅学園清修中学校

|           | 入学定員 | 収容定員 |
|-----------|------|------|
| 白梅学園清修中学校 | 60   | 180  |
| 合 計       | 60   | 180  |

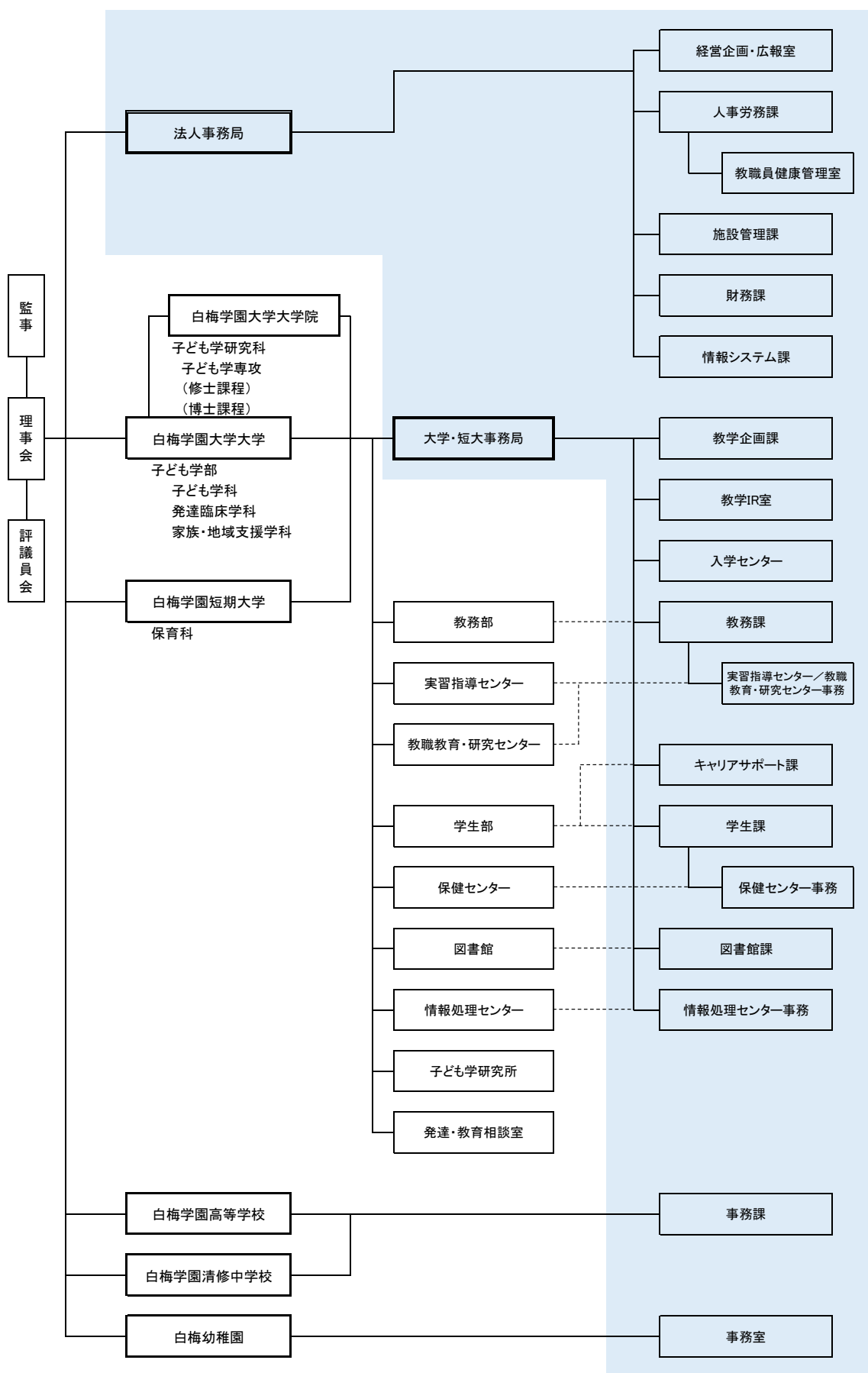
### 白梅幼稚園

|       | 入学定員 | 収容定員 |
|-------|------|------|
| 白梅幼稚園 | 70   | 210  |
| 合 計   | 70   | 210  |

白梅学園合計

| 学科名等      | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員  |
|-----------|------|-------|-------|
| 白梅学園大学大学院 | 22   | －     | 51    |
| 白梅学園大学    | 225  | 30    | 960   |
| 白梅学園短期大学  | 95   | －     | 190   |
| 白梅学園高等学校  | 340  | －     | 1,020 |
| 白梅学園清修中学校 | 60   | －     | 180   |
| 白梅幼稚園     | 70   | －     | 210   |
| 合 計       | 812  | 30    | 2,611 |

# 学園組織図（2022 年 4 月）



### [Ⅲ]2022 年度の主要な事業計画

#### 1. 教育活動の推進

##### 【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

##### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

これからの時代を生きる学生たちの「変革をもたらすコンピテンシー」(OECD)を本学として明確化、共有化し、カリキュラムや教育活動における実現を目指す。そのために、教学マネジメントをシステムとして確立させ、学修者本位の教育の実現を図るための教育改善に取り組む。

2022 年度以降における新型コロナウイルス感染症状況は不透明であるが、対面授業を原則とし、教育の質向上を目指す。

##### 中期計画 4 年目達成目標／事業計画

###### (1) 学修成果指標の策定

教学マネジメント・IR 委員会で提示してきた学修成果の獲得状況データを整理し、本学における学修成果指標(アセスメント・ポリシー)を策定し、改善サイクルの確立を目指す。

###### (2) 学修成果の見える化

卒論ルーブリックの運用を開始する。年度初めに教員、学生間でルーブリック指標を共有し、それに基づき、2 月に卒論評価を実施する。

##### 【白梅学園高等学校】

##### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

###### (1) 現行並びに時期学習指導要領に基づくカリキュラムの準備・実施・管理

###### (2) 現行カリキュラムの実施・管理・評価

###### (3) 新カリキュラムの準備(前倒し導入)

###### (4) 新カリキュラムの実施・管理

###### (5) 授業における「生徒間の対話の場面」の創造

###### (6) ルーブリックによる観点別評価の試行及び実施

##### 中期計画 4 年目達成目標／事業計画

(1) 第 1 学年より新学習指導要領に基づいたカリキュラムを実施する。

(2) 第 2・3 学年においては、新学習指導要領を視野に入れた授業内容の見直しや改善を図ると共に、現行学習指導要領に基づいたカリキュラムを 2023 年度第 3 学年まで継続実施する。

(3) 授業における「生徒間の対話の場面」をさらに拡大実施し、思考力・判断力・表現力の育成を図る。

(4) 第 1 学年において、3 観点に基づくルーブリック評価を実施し、5 段階評定との整合性もとれるようにする。

##### 【白梅学園清修中学校・中高一貫部】

##### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

本校の重要課題である財政の健全化にむけて、2023 年度まで持続的に 45 名の入学生徒数を確保するための募集対策が最重点の施策である。これまで、学校の特色を明確にし、「6 年

間一貫教育」「女子教育」「英語教育」を学校の魅力として広報に取り組んできた。さらに、重点課題の教育活動の充実を図り、その特色を『見える化』して、事業計画を立案し実行していく。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

##### **(1) 女子教育の推進「リーダーシップ・プログラム」(生徒の主体性・自主性を育む)**

一人一人の主体性や個性を大切にして、生徒の個性を生かした活躍の場を、学校生活や学校行事の中に意図的に取り入れていく。また、異学年で活動することをおして、身近なところに、素敵な先輩がいることに気づき、目標として生活したり学んだりしていく。

##### **(2) 英語教育**

英語の授業週 7 時間中、5 時間はネイティブによる All English の授業で、英語で表現することを楽しめる「英語を使う、使える環境」を実現する。本年度を通して、随時、英語によるコミュニケーション能力を育成する英語教育の内容について、学校行事と関連付けたシラバスの改訂を図っていく。

##### **(3) 日常的な教育活動に ICT 機器の活用**

中学校においては、日常的な学びの中で、一人 1 台のタブレット PC を活用する。また、記録・保存した自らの学びの成果を振り返るなど、主体的な学びの道具として活用させていく。

#### **【幼稚園】**

#### **中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)**

(1) 保育の内容に関する研究を進め、白梅の理念を実行し、目指す子ども像を実現していく。

(2) 大学附属として、大学・短期大学と連携・協力を積極的に図り、互いの教育・研究に貢献する。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

##### **(1) 子ども自ら遊ぶ幼児教育の実践**

自由遊びを主とする子ども中心の保育を実施する。カリキュラム・マネジメントにより、日々の保育や行事等を振り返り、年齢に応じた保育を更新する。

##### **(2) 大学・短期大学の教育・研究との連携・協力の強化**

①1 学期と 2 学期に大学・短期大学の教育実習生を受け入れ、保育者養成教育に貢献する。

②大学・短期大学の授業やゼミ等と連携・協力し、ワークショップなど園児及び学生が交流する活動を実施する。

③大学・短期大学で前後期に開講する授業等に対し、参観の場の提供や、幼児教育実践や保育職に関する話題提供などを通して協力を行う。

## **2. 研究活動の推進**

#### **【白梅学園大学・白梅学園短期大学】**

#### **中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)**

「子ども学研究所」における事業を中心に、研究調査（特に保育学・子ども学における共



同研究の活発な展開）・地域連携・成果発信の取り組みを充実・発展させるとともに、知の集積拠点事業（子ども学アーカイブス）を進める。また、研究推進の成果を大学院教育の充実に還元する。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

##### **(1) 成果発信の強化・充実**

学会等における研究成果の発信のさらなる活性化を目指す。

また、科研費間接経費計画での実施を念頭に、子ども学研究所内で、研究・活動発信に関するホームページの充実化に向けて検討を進める。

##### **(2) 新規申請者・採択率の増加に向けた研究支援**

2020 年度から実施してきた、研究者の申請の動機付け、きっかけづくりとなる公募申請説明会の実施や、研究計画作成段階における個別具体的なアドバイス提供を、継続的に実施できる体制づくりを行う。

また、研究費助成規模の大きい基盤 B への申請取組支援を行っていく。

#### **【白梅学園高等学校】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

(1) 校内研修会・校外研修会の機会を設け（学期に最低 1 回）、教員の教育力や問題解決能力スキルの向上

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

(1) 学期に 1 回の校内研修会を実施する。

#### **【白梅学園清修中学校・中高一貫部】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

学力推移調査の結果分析をもとに、教科ごとの学力向上策を検討する。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

(1) 定期的な教科部会を充実させる。

ルーブリックに基づく基礎的・基本的事項の評価基準表を作成する。（年度末）

#### **【幼稚園】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

(1) 保育の内容に関する研究を進め、白梅の理念を実行し、目指す子ども像を実現していく。

(2) 大学附属として、大学・短期大学と連携・協力を積極的に図り、互いの教育・研究に貢献する。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

(1) 子ども自ら遊ぶ幼児教育の研究

①毎月、園内研究会を行い、子どもの育ちと保育のありようについて協議し、実践研究を推進する。

②公開研究会を開催するとともに、他園の参観を通じた研修を進め、他園の保育者等との交流を図る。

## (2) 保育環境の最適化の研究

- ① 保育室内のものの配置を見直し、可変的で衛生的な空間構成を構築する。
- ② 4歳児の保育室を1階に設置し、園庭との連続性を高め、安全で遊びが充実する環境を構築する。
- ③ 園庭ワークショップを実施し、園庭や屋外の保育環境について最適化を目指し再構築する。

## (3) 大学・短期大学の教育・研究との連携・協力の強化

- ① 大学・短期大学の研究・調査に協力し、その成果についてフィードバックを受ける。
- ② 幼稚園が推進する研究について、大学・短期大学の教員から指導・助言を受けてさらなる改善・展開を図る。
- ③ 大学と幼児教育懇談会を開催し、幼稚園の課題や、幼稚園－大学の連携協力のあり方や進め方について検討を行う。

## 3. 学生・生徒・園児支援の推進

### 【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

学ぶ意欲のある学生が、充実した学生生活を送ることによって自己の能力を伸ばし、目指すキャリア実現が図れるよう、ひとりも取り残さない持続可能な支援体制を構築する。

特に、心理面での支援や障がい学生への支援にとどまらない、さまざまな困り感を持った学生に対して、組織的に対応することを目指す。

#### 中期計画4年目達成目標／事業計画

##### (1) 学生生活支援相談窓口の継続検討

現在学生課が担っている学生生活支援相談窓口について、専門職であるキャンパスソーシャルワーカー職(CSWr)の配置を含めて、組織的な体制強化の方策を検討していく。

##### (2) 生活困窮学生への継続的な支援

2020年度から実施しているフード・パントリーについて、今後も継続的に学生を支援できる体制となるよう、小平市のフードバンク設立の動きも踏まえつつ、開催の形を考えていく。

2021年度からの継続事業として、学内での学生アルバイト業務を集約して、学内ワークスタディとして制度化への取り組みを進める。

##### (3) 学生のキャリア啓発の一環としての正課外活動支援

学生の学生会活動や学園祭実行委員会活動、子育て広場等の地域交流イベント実施、サークル活動等の正課外の活動を、学生のキャリア啓発にもつながる課外活動として再認識し、コロナ禍を経て、継続性が弱くなっている学生間のつながりの支え方を考えていく。

### 【白梅学園高等学校】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

##### (1) 大学等進路実績の向上

- (2) 理数科系強化、文理融合型実現の整備（早慶上理等及び医薬看等）
- (3) 在京国立難関大学プログラム（東京外語、東京学芸、筑波、一橋、東大（推薦）等）
- (4) 外国語・教員系私学プログラム（国際教養、APU、早稲田国際教養、上智国際教養、立教）
- (5) 海外大学進学プログラム（進学相談室設置、ガイダンス業務準備、長期留学、ターム留学、姉妹校提携）

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

- (1) 特別選抜コース国公立系が完成年度となる 2024 年度卒業生の進路希望実現を目指し、目標とする大学進学実績を達成させる。そのために、特別選抜コース長を新たに設け、第 1 学年特別選抜クラス担任及び校長を加えたチームを立ち上げ、部長会や教科主任会とも連携した組織的な学習指導・進路指導を展開する。
- (2) 各国内大学プログラムについては、肩肘を張らずに、「生徒の希望を叶えるために」個別具体的な手立てを打っていく。
- (3) 海外大学への進学を希望する生徒がいる場合は、個別に情報収集や情報提供を行い、実現のための支援を行う。

#### **【白梅学園清修中学校・中高一貫部】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

担任の資質・能力に必要な生徒理解に関わる職員研修を実施する。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

- (1) 学習障害、発達障害に関する研修を実施する。
- (2) 個別面談等で、教員自らのキャリアにおいて身に付けるべき能力を認識させる。
- (3) 若手教員の経験に応じて身に付けるべき力を提示する（OJT）。

#### **【幼稚園】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

- (1) 保育の内容に関する研究を進め、白梅の理念を実行し、目指す子ども像を実現していく。
- (2) 大学附属として、大学・短期大学と連携・協力を積極的に図り、互いの教育・研究に貢献する。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

- (1) 特別に支援を要する子どもの育ちの保障
  - ① 大学の教育相談機能を活用し、発達・教育相談室と連携して、子育てや発達の相談に対応する。
  - ② 小平市の巡回相談を活用し、要支援の子どもの育ちに関して助言を受け、保育や子ども理解に活かす。
  - ③ クラスの状況に応じて保育補助者を配置し保育の充実を図り、クラスの子どもたちの集団かつ個の育ちを促す。
- (2) 学生・生徒ボランティアの導入

保育環境整備や保育補助等について、高校生や学生ボランティアを導入し、保育の安定を図るとともに、学生・生徒の保育経験の充実に資する。

#### 4. 学生・生徒・園児の確保

##### 【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

##### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

入学定員 100%以上の入学者数を確保し続けるとともに、本学の教育方針をより理解して志望する学生の確保に努める。

##### 中期計画 4 年目達成目標／事業計画

###### (1) 多様な形態での募集活動

従前より有効な募集活動であるオープンキャンパスの実施に加え、動画の配信や SNS 発信など、新たなかたちも取り入れた募集活動を展開する。

###### (2) 改組に向けた募集活動の展開と入試制度設計

2024 年度からの改組に向け、2 年前告知に基づく募集活動を行うとともに、特に新学科の入試制度設計を検討する。

##### 【白梅学園高等学校】

##### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

###### (1) 生徒募集の推進

###### (2) 特別選抜 ISG・選抜の改善

###### (3) 保育・進学レベルアップ

###### (4) 学校ホームページの改善・充実

###### (5) 学校のスマート・スクール化

###### (6) ICT 環境整備（施設整備）

###### (7) EdTech 授業の展開（試行過程 1 年を含む）

##### 中期計画 4 年目達成目標／事業計画

(1) 入学定員 280 名を確保するために、教職員と生徒が協働して、効果的・効率的な広報・募集活動を行う。

(2) 特別選抜コース国公立系を立ち上げ、3 年後の生徒の進路希望の実現を目指した具体的な指導を展開する。また、そのノウハウを特別選抜コース文理系や選抜コースにも適用していく。

(3) 保育・教育系及び進学文理系の学習指導・進路指導についても、国公立系における効果的な取組等を取り入れていく。

(4) 学校 Web サイトは学園としての統一性や方向性を踏まえて改善し、前年度と同様に適宜適切に更新して情報発信をしていく。

(5) 学校のスマート・スクール化については、校務支援システムの更新を視野に入れ、プロジェクトチームによる具体的な方向性を示していく。

(6) 前年度と同様の ICT 環境を維持する。

(7) 全校で一人 1 台端末が完備されることを踏まえ、これまでの ICT を活用した授業を継承・発展させていく。

### 【白梅学園清修中学校・中高一貫部】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

入学者 45 名以上を、5 年間継続的に確保する

#### 中期計画 4 年目達成目標／事業計画

- (1) 学校の魅力を発信するホームページを更新する。
- (2) 地元近隣市に重点を置いた塾訪問を徹底する。

### 【幼稚園】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

- (1) 未就園児（2 歳児の保育）の保育の内容を見直し、今以上に充実したものにする。
- (2) 大学附属の強みを未就園児の会や園内イベント等で発揮する。

#### 中期計画 4 年目達成目標／事業計画

- (1) 2 歳児クラスの拡充と保護者支援

① 2 歳児クラスについて週 1 回または週 2 回の利用選択を可能とし、内容の充実を図る。

・ 5 月～9 月の前期には延べ 28 回、10 月～3 月の後期には延べ 44 回開室する。

② 保護者と信頼関係を築き、子育て等に関する相談に対応する。

- (2) 募集対策の強化

① 入園説明会の構成を工夫し、参加者の十分な理解を促し、疑問に丁寧に応える。

・ 入園説明会については、7 月～10 月に 5～6 回開催する。

② 入園説明会における提示資料や配付資料を充実させ、終了後への関心の継続やホームページの閲覧を誘う。

③ 関係諸機関にチラシなどの設置や配付を依頼する。

## 5. 学園広報の推進

### 【学園・法人】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

白梅学園の良い取り組みや魅力を地域や保護者・志願者等学園内外に、より理解してもらうよう広報体制を見直し、具体的な発信の仕組みを定着させる。

#### 中期計画 4 年目達成目標／事業計画

「学園広報の見直し」による、魅力の発信体制の強化を行う。

(1) 学園共通の HP（ホームページ）のフレームに関し画面のわかりやすさ、見やすさを図るため、今日的なデザインに変更する。

(2) HP（ホームページ）で重点的に強化する発信内容について、各校と検討して見直す。

(3) 学園・各学校広報体制の再確認を行う。

(4) 「地域と教育」について、目的・内容（仕様）・配布先などの見直し。

## 【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

大学としての広報・情報発信を積極的に行い、白梅学園大学・白梅学園短期大学の存在を広める。

### 中期計画4年目達成目標／事業計画

#### (1) 大学における広報・情報発信業務の確立

教学企画課職員の業務比率を確保するとともに、7月までに情報発信のガイドラインを策定し、ホームページの更新状況をさらに拡散する手段を確保し、情報発信の強化につなげる。

#### (2) ターゲットを意識した発信の工夫

2021年度に実施されなかったホームページリニューアルに合わせ、受信側のターゲットを明確にしたホームページ作りを行う。

## 【白梅学園高等学校】

### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

#### (1) 各種メディアを活用した広聴活動の推進（新規設定）

### 中期計画4年目達成目標／事業計画

(1) メディアからの取材依頼は可能な限り受け付け、学園広報につなげていく。

## 【幼稚園】

### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

(1) 保育の内容に関する研究を進め、白梅の理念を実行し、目指す子ども像を実現していく。

### 中期計画4年目達成目標／事業計画

#### (1) 紙媒体による広報活動の充実

① 広報用パンフレットやチラシを作成し、園だよりを発行し、園内外に本園の保育の実際を広報する。

・ 広報用パンフレットとチラシは6月に完成させる。園だよりは毎月発行する。

② 随時、クラスだよりを発行し、子どもの様子や育ちを保護者に広報する。

#### (2) ネットワーク環境の活用による広報活動の充実

① ホームページについて、構成と内容を見直し修正を加え、随時の情報更新によって園内外への広報を行う。

② さくらシステム等の運用により、在園児や未就園児の保護者等には幼稚園のイベント等について広報を行う。

## 6. 国際交流の推進

## 【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

大学の諸活動、及び教員の研究活動について、英文での情報発信を強化する。また、教員の国際交流の活性化を図るとともに、学生の国際化意識を高める。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

##### **(1) 教養教育課程における海外演習の実施計画策定**

2024 年度入学生からの適用カリキュラムにおける教養教育課程の海外演習について、授業内容について詳細を詰めるとともに、演習実施計画を固める。

##### **(2) 国際交流活性化の具体的な支援策検討**

教員の国際交流活性化の具体的な支援策として、海外での研究活動や国際学会での発表に対し、国内の活動支援にプラスした支援をすることで、国際交流活性化につなげる方向で検討する。

#### **【白梅学園高等学校】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

##### **(1) ターム留学・海外語学研修の充実**

##### **(2) 2021 年度中の本格的な姉妹校締結準備**

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

(1) ターム留学・海外語学研修は、新型コロナウイルス感染症収束後の再開を目指す。それまでは、オンラインを活用した交流や国内での語学研修を実施する。

(2) 姉妹校締結も急がず、新型コロナウイルス感染症収束後に準備を再開する。

#### **【白梅学園清修中学校・中高一貫部】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

外国人留学生との交流を通して、平和や日本の歴史に対する見方や考え方を深めたり、留学生の母国と日本との文化や生活習慣の違いを知ったりする機会とする。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

(1) 小平市国際交流協会との連携を通して、中学 2 年生で、前期に 2 回、留学生交流を実施する。

(2) 7 月に 4 年生の海外研修、12 月に 2 年生の国内英語研修を実施する。

## **7. 生涯学習・社会貢献・地域連携等の推進**

#### **【白梅学園大学・白梅学園短期大学】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

地域連携協定のもとで、大学と地域の結びつきを強めるとともに、教員の社会的活動を支援、取り組みを可視化して他の活動とつなげていく。また、活動で得られた学生の「学び」の軌跡を記録し、共有化を行っていく。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

##### **(1) 各種講座の実施と実施状況の発信**

保育士キャリアアップ講座、公開講座、市連携講座を実施するとともに、実施状況についても学内外に発信していく。

##### **(2) 地域ボランティアの実施**

学生のキャリア啓発活動としての位置づけを明確にし、キャリア形成と連動した地域ボランティアを実施する。

(3) 東村山市との地域連携協定

地域連携の内容についての調整・協議を重ねていき、協定締結の実現を目指す。

**【白梅学園高等学校】**

**中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)**

- (1) 特別講座の推進（単体・継続の併用）
- (2) 「白梅の学び」の構築・確立
- (3) 白梅 AL の展開と発展
- (4) 西川講座の検証・評価と発展
- (5) 新講座の開設と発展
- (6) 文理融合型授業の展開と発展

**中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

- (1) SFP 特別講座は、年 3 回程度開催する。単に講義形式の講座とするのではなく、生徒間の対話やグループ学習を取り入れた内容とする。その中で、授業等を中心に蓄積してきた知識を活用して主体的に思考できる生徒の育成を目指す。
- (2) 教科を横断した情報交換などを通して、特に第 3 学年の授業や特別講座において、これまでの知を統合した文理融合型授業を展開する。

**【白梅学園清修中学校・中高一貫部】**

**中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)**

小学生英語教室の実施

**中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

- (1) オンライン授業で実施し、清修の英語教育のよさ、面白さを広める。
- (2) 前期、後期に 1 回ずつ参加者を本校に集めて、英語のイベントを開催する。

**【幼稚園】**

**中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)**

- (1) 大学附属の強みを未就園児の会や園内イベント等で発揮する。
- (2) 地域の方々との信頼関係を築き、地域密着の幼稚園とする。地域の子育てのセンター的役割を果たす。
- (3) 保護者のニーズの高い預かり保育の内容を検討し、保護者のニーズと子どもにとっての有意義な預かり保育を目指していく。
- (4) これまで以上に信頼される白梅幼稚園を目指し、保護者の意見を反映した園の在り方を考えていく。
- (5) 近隣大学や関係諸機関（武蔵野美術大学、公民館、高校、区立中学校、区立小学校）との連携を強化し、子どもたちの多様な体験を実施する。



#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

##### **(1) 未就園児保育の実施**

①子育て支援及び未就園児の育ち促進の一環として、2 歳児クラスにおける未就園児保育を定期的に実施する。

・2 歳児クラスについては、5 月～9 月の前期には延べ 28 回、10 月～3 月の後期には延べ 44 回開室する。

②園庭開放やお話し会、体験入園といった園児保育を定期的に実施する。

・園庭開放は概ね毎月 1 回程度、お話し会と体験入園等は 1～2 学期に合わせて年 4 回程度、実施する。

##### **(2) 預かり保育の充実**

①預かり保育について、随時、環境の見直しと内容の工夫を行い、長期休業中を含め通年で実施する。

②午睡やおやつ、部屋利用などにおいて、新型コロナウイルス感染症に対して十分な予防対策を行う。

##### **(3) 保護者向け講座の開催や自治活動の支援**

①大学・短期大学と連携して、保護者向けの講座を開催する。

②保護者による PTA 活動（梅の実会）やサークル活動などの自治活動の実施を支援する。

##### **(4) 地域や近隣諸機関との交流の推進**

①地域や、小学校など近隣の諸機関の協力を得て、園児の活動の多様化を図る。

## **8. 卒業生との連携等の推進**

### **【白梅学園大学・白梅学園短期大学】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

母校への愛着、帰属意識をより高め、卒業後も応援し続けてもらえると同時に頼られる大学・短期大学を目指す。また、リカレント教育を通じた卒業生との交流の場を積極的に設ける。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

##### **(1) 卒業生を対象としたアンケートの実施**

卒業生の視点を取り入れた新たな教育活動を模索するため、2021 年度実施できなかった卒業生を対象としたアンケートを 7 月までに実施する。

##### **(2) 卒業生とのつながりの強化**

例年同様、10 月に実施される同窓会総会において、講演会講師を派遣するとともに、大学・短期大学から卒業生に対し、直接、情報発信する手段を整えていく。

### **【白梅学園高等学校】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

(1) 卒業生による在校生に対する進路指導への協力依頼

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

(1) 大学へ進学した卒業生に協力してもらい、第 2 学年を対象とした「OG の話を聞く会」を開催する。

#### **【白梅学園清修中学校・中高一貫部】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

卒業生との連携を、進路説明会や学校説明会の講演でつないでいき、各卒業年時の卒業生との関係を維持強化していく。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

- (1) 学校説明会のうち 4 回に、卒業生の講演を取り入れる。
- (2) 進路説明会、OG 講演会を実施する。

#### **【幼稚園】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

(1) これまで以上に信頼される白梅幼稚園を目指し、保護者の意見を反映した園の在り方を考えていく。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

- (1) 卒業生、保護者 OB との連携推進
- ① 同窓会やおやじの会等によって、卒業生や保護者 OB・現園児保護者との交流を促し、園の長所や課題の認識を深めるなど本園の教育への支援を得る。

## **9. 働き方・仕事の仕方の見直し**

#### **【学園・法人】**

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

(1) 大学事務組織、法人事務組織の見直し（業務のやり方、人材育成も含む）について、2027 年度大短新棟の供用開始時に、学生へのより一層のサービス向上に向けて「ワンストップ窓口」を目指し、段階的に取り組む。

（2020 年度に設置した「人材育成体系の策定プロジェクトチーム」は 2021 年度で終了とし、上記施策に統合する。）

- (2) 変形労働時間制（中高教員）の検討（制度の内容と採用の可能性につき検討）
- (3) 在宅勤務規程の検討
- (4) 各種労務法令対応

#### **【白梅学園大学・白梅学園短期大学】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

教職員の意識とともに、インセンティブを高めることによって、教職員が最大限の力を発揮できる環境を整え、大学・短期大学の教育及び研究の質向上を実現する。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

##### **(1) 教員の研究環境向上**

研究時間確保のための一方策として、研究費の会計システムを導入し、6 月から稼働を目指す。システム導入による経費計算の自動化、研究費出納手続きの簡素化するとともに、研究費管理、不正防止強化に向けた対応につなげる。

##### **(2) 教職員を対象とした FSD 体制の再構築**

第三者評価で言及のあった、教員と職員の両者を対象とした SD 活動（広義の SD）について、組織としての体制の見直しを行う。見直しにあたっては、現行の SD 委員会を再構築する形で検討を進める。

#### **【白梅学園高等学校】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

##### **(1) 部活動外部指導員の活用を拡大**

##### **(2) 仕事の整理・合理化の推進**

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

(1) 少なくとも、現在配置されている部活動外部指導員の活用を継続する。学園の財政状況が改善したら、拡大していく。

(2) 超過勤務の要因となっている、会議の在り方や部活動指導時間など、可能なところから見直しを進めていく。

#### **【白梅学園清修中学校・中高一貫部】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

学校運営組織の強化

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

##### **(1) 職務の偏りの状況を把握し改善する。**

##### **(2) 休日出勤の代休日を計画的に取得させる。**

#### **【幼稚園】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

(1) 教職員が互いに学ぶ職場を形成するとともに、業務内容を的確に遂行し、園の管理運営に貢献する。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

##### **(1) 業務の再編と相互連携**

①園の業務の再編と透明化を行い、相互の勤務状況への理解を深め、教職員間の連携協力を強化する。

## 10. 建学の精神の高揚

### 【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

大学・短期大学の歴史を伝える機会を設け、先人たちの志と建学の知的心性を知り、ヒューマニズムの精神の理解を深める。

#### 中期計画 4 年目達成目標／事業計画

##### (1) 建学の精神を継承する教職員研修の実施

学園創立 80 周年記念教職員研修（FSD 研修）として、学園の歴史を学び継承する機会を設ける。

### 【白梅学園高等学校】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

##### (1) 「ヒューマニズム」精神が通底した教育活動の展開（新規設定）

#### 中期計画 4 年目達成目標／事業計画

(1) 教職員と生徒との温かな人間関係・触れ合いを強みとして、「面倒見のよさ」を大切にしたい教育活動を展開する。

### 【白梅学園清修中学校・中高一貫部】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

建学の精神を時代のニーズで捉える。

#### 中期計画 4 年目達成目標／事業計画

##### (1) 6 年間一貫教育の 3 ポリシーを策定する。

##### (2) 年度内に決定し、学校説明会やホームページ等で発信する。

### 【幼稚園】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

##### (1) 学園の建学の精神に基づき、大学附属園としての歴史と実績を踏まえてブランド力を高める。

#### 中期計画 4 年目達成目標／事業計画

##### (1) 園史関係資料の収集

大学・短期大学の専門家の助言を受け、園内の保存資料を整理し、不足している資料を洗い出し、収集を進める。7 月下旬～9 月中旬と、12 月に実施を予定している。

## 11. 令和充実 5 カ年計画・80 周年記念事業

### 【学園・法人】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

「令和充実 5 カ年計画」に基づき、2022 年 3 月の学園 80 周年にむけて記念事業委員会発足し、学園史、記念行事、募金等の検討・事業の遂行を行う。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

常勤理事会を 80 周年記念事業の実行委員会として、以下の取組を行う。募金活動を開始するとともに、行事の具体化を進める。

- ①募金活動：大短をはじめとする同窓会、後援会への協力・支援依頼実施（個人の方は、募金活動の後半に予定）
- ②学園史／学校史：編纂開始（～2026 年度完成）
- ③創立時の建学の精神の探究：検討開始（～2026 年度完成）
- ④記念式典：2027 年度の新棟竣工に合わせて実施

#### **【白梅学園大学・白梅学園短期大学】**

##### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

大学としての将来構想を策定し、中長期的な教学プランに基づいて大学運営を進める。また、80 周年記念事業の一環である学園史編纂を通して、特に大学開学以降の歩みを整理する。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

- (1) 将来構想策定委員会答申に基づく中期計画策定に向けた検討

2021 年 12 月にまとめられた答申内容に基づき、2024 年度以降の中期計画策定に向け、現行計画との接続等について検討する。

- (2) 大学開学以降の歩みの整理

「白梅学園短期大学 創立五十周年記念誌」が発刊された 2009 年以降の大学・短期大学の歩みについて、整理を進める。

#### **【白梅学園高等学校】**

##### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

- (1) 記念誌補遺版の作成・発行（新規設定）
- (2) 関連団体等への募金依頼（新規設定）

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

- (1) 記念誌補遺版の作成に向けた下準備を行う。
- (2) 関連団体と下打ち合わせを行う。

#### **【幼稚園】**

##### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

- (1) 学園の建学の精神に基づき、大学附属園としての歴史と実績をふまえてブランド力を高める。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

- (1) 大学附属園としての実績の明確化
- ①幼稚園創立以来の大学・短期大学附属園としての実績洗い出しの端緒をつける。

## 12. 大学・短期大学新棟・施設中長期整備計画

### 【学園・法人】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

2024年度までに、新棟の規模・場所・施設の内容等を、建築委員会等で論議決定し、2025年度大学・短期大学新棟工事着工、2027年度供用開始に円滑につなげる。

#### 中期計画4年目達成目標／事業計画

大短新棟の建築（2025年度工事着工、2027年度供用開始予定）に向け、以下の取組を行う。

- ①6月に建築委員会として基本構想を理事会に答申する。
- ②11月に基本構想に基づく詳細を定めた基本計画を理事会に答申する。
- ③上記の答申に基づき、CM（コンストラクションマネジャー）と共に、業者選定と2023年度の基本設計の段取りを行う。

### 【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

大学・短期大学新棟について、2025年工事開始、2027年供用開始に向けて、建築委員会で検討を進める。

#### 中期計画4年目達成目標／事業計画

- (1) 基本構想策定と基本計画の答申

建築委員会において、2022年6月の基本計画答申に向けて、基本構想を策定していく。

### 【白梅学園高等学校】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

- (1) 東京都計画道路施策を視野においた図書館機能移転先の検討（新規設定）

#### 中期計画4年目達成目標／事業計画

- (1) 今年度に具体的な対応はとらない。

## 13. 財政再建計画

### 【学園・法人】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

「学生・生徒・園児の教育基盤を充実させ、学園が持続的に教育使命を果たしていく」ために従来の「学園の財政のあり方」を見直す。財政再建策に則り、人件費・物件費を学生・生徒・園児の教育基盤充実にシフトする。

#### 中期計画4年目達成目標／事業計画

学園の持続的存続・発展のため、財政再建に引き続き取り組む。若者人口減少の傾向が今後本格化する中、施設整備や事務職員のあり方等に関し、多少の定員割れが生じてても学校が持続的存続できるよう、引き続き以下の取組を中期的に一步一步進めていく。

- (1) 人件費・物件費見直し計画の着実な実行

- (2) 学生生徒数の安定的確保に向けた収入面の取組・計画検討
- (3) 重点方針・重点取組に基づいた新予算制度の着実な実行
- (4) 補助金等外部資金獲得

#### 【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

##### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

収容定員 100%を確保し続け、収入の安定化につとめる。

##### 中期計画 4 年目達成目標／事業計画

- (1) 大学・短期大学全体の適切な定員設定での改組

短期大学、編入生、大学院生の適正な定員を踏まえた、学部学科の収容定員を考え、2024 年度からの改組を決定した。改組に向けた申請作業を進める。

- (2) 退学者・休学者を増加させないための方策実施

退学者・休学者につながる授業への出欠状況について、Web での入力を活用し、一定の欠席について学科・学生課と情報共有する仕組みを整える。

#### 【白梅学園高等学校】

##### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

- (1) 募集定員及び収容定員の充足（新規設定）

- (2) 学納金の値上げ実施（新規設定）

##### 中期計画 4 年目達成目標／事業計画

- (1) 来校した中学生・保護者の満足度の高い見学会・説明会・相談会等を開催する。

- (2) 2023 年度からの学納金の値上げ金額を検討・確定する。

#### 【白梅学園清修中学校・中高一貫部】

##### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

入学者 45 名以上を、5 年間継続的に確保する。

##### 中期計画 4 年目達成目標／事業計画

- (1) 経費を必要としない情報発信に工夫する。

- (2) 会議のペーパーレス化によりコピー・印刷機の使用を節約する。

- (3) タブレット端末を利用した授業のハイブリッド化により、ワークシートをデジタル資料で提示する。

## 14. ガバナンス強化、意思決定の迅速化・透明性の徹底

#### 【学園・法人】

##### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

権限と責任に関する規定等の見直し実施、白梅学園版ガバナンスコードの策定、内部監査／監事機能の充実を目指す。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

- (1) 2022 年に予定されている私立学校法の改正内容を踏まえガバナンス強化に取り組む。
- (2) ガバナンスコードは、法改正の趣旨に添い具体化を進める。
- (3) 権限と責任に関する規定等の見直しに着手する。

#### **【白梅学園大学・白梅学園短期大学】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

教学組織と、それを支える新たな事務組織のもとで、無理と無駄のない大学運営組織体制を構築する。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

- (1) 必要な諸規程の整備

2021 年度実施できず先送りとなった改定の必要な規程の洗い出し、改案の作成を 8 月までに行い、その後学内調整を経て、承認を得たうえで、2023 年度の体制構築につなげる。

- (2) 白梅学園大学・短期大学ファクトブックの作成

情報公開の対象となっている基礎的データの経年変化を、ファクトブックとしてまとめ、年次発行し、常勤理事会等学内関係者と共有する。

※ファクトブックとは：企業のサービス、歴史や業績を伝えるために数的根拠や事実を元に情報をまとめた資料

#### **【白梅学園高等学校】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

- (1) 部長会と分掌部会との双方向性・透明性の確保（伝達と意見聴取）（新規設定）

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

- (1) 部長会の内容は、部長を通して各部員へ伝達する。また、必要に応じて各部での意見聴取を行い、部長会としての意思決定を行う。

#### **【白梅学園清修中学校・中高一貫部】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

意思決定と権限の明確化

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

- (1) 専任教員が各分掌主任となって責任を明確にする。
- (2) 教科主任会を定期的にもち、PDCA を検証し、継続的に改善を目指す。

#### **【幼稚園】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

- (1) 教職員が互いに学ぶ職場を形成するとともに、業務内容を的確に遂行し、園の管理運営に貢献する。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

- (1) 教員組織の機能強化



①園務分掌を再編し担当業務を明確化するとともに、相互の連絡・報告を緊密に行い、互いの業務の理解を深める。

## 15. 管理運営（施設改修・更新・労務他）

### 【学園・法人】

#### 中期計画 4 年目達成目標／事業計画

##### (1) 個別の修繕案件

学生、生徒、園児の修学環境の改善・向上ならびに施設の安全確保のための改修・更新を行う。

##### (2) 既存校舎の長寿命化のための維持管理

①大短新棟の建設とともに、既存校舎の適切な維持管理と長寿命化を図ることも、学園の施設管理の重要事項とする。

②現行の 15 年間の補修計画（防水・塗装・外壁点検）を、危険度・老朽化度をベースに洗い直しを行う。（2022 年度 9 月）

③必要総工事額を算出し、毎年の減価償却引当資産の積立額の見直しを行い計画的に既存校舎の補修を行う。

##### (3) 改正個人情報保護法(2022 年 4 月施行) への対応

改正の中心である、個人情報の大量漏洩等対策、開示請求・事業者としての公表事項、大学の学術研究機関としての遵守事項等につき対応する。

### 【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

建物設備の定期的な更新を実施し、学生の教育環境として、時代に即した快適な施設設備であり続けられるよう、法人事務局と協働して進める。

#### 中期計画 4 年目達成目標／事業計画

##### (1) 建物設備整備の更新要請

第一大体育館の空調設備整備、B 棟 3・4 階、E 棟、F 棟のトイレ整備をはじめとする、既存設備の更新（修繕・改修）の必要性を法人事務局に求め続けていく。

### 【白梅学園高等学校】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

##### (1) 第 2 大体育館の冷房化

#### 中期計画 4 年目達成目標／事業計画

##### (1) 第 2 大体育館内の小体育室 B の冷房化を実現する。

### 【幼稚園】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023 年度)

##### (1) 保育の内容に関する研究を進め、白梅の理念を実行し、目指す子ども像を実現していく。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

(1) 保育室等屋内施設の改修

①安全面や公衆衛生面、幼児の生活の場としての最適化の観点から、保育室や室内設備について改変・更新を図る。

## **16. 情報化教育/ICT**

### **【学園・法人】**

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

下記の取組を実施する。

(1) セキュリティ対策

(2) 80 周年記念募金システム化

(3) 大短教員・事務職員学園貸与 PC リプレイス／大短教員ファイル共有環境構築

(4) [幼稚園]保育室環境 ICT 整備

(5) [中学]中学生用学園貸与端末追加

(6) [高校]遠隔授業 ICT 機器整備

(7) [全学]業務効率化、ペーパーレス化、情報共有環境 ICT 整備（設計作業）

(8) [大短]出欠管理用 IC カードシステム整備（設計作業）

(9) [高校・中学]教務・入試システム再構築（設計作業）

(10) オンライン授業計画策定プロジェクトチーム

### **【白梅学園大学・白梅学園短期大学】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

学習支援システム（ラーニングマネジメントシステム）の活用と合わせ、講義室の AV 設備環境の統一化を図ることで、全ての授業が ICT を活用した授業展開ができるようにし、ポスト・コロナ時代をも見据えた環境整備を進める。

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

(1) 講義収録配信システム整備の実施

文部科学省の遠隔授業補助金を活用した設備整備を進める。

### **【白梅学園高等学校】**

#### **中期計画の全体像／達成目標 (2019～2023 年度)**

(1) ICT 教育の推進

(2) オンライン授業の推進

#### **中期計画 4 年目達成目標／事業計画**

(1) ICT 教育については、全学年で一人 1 台端末が実現することを踏まえ、使用ソフト等の一部見直しなどを行う。

(2) 通常時間割に基づいた同時双方向型のオンライン授業へいつでも切り替えられるように準備しておく。

### 【白梅学園清修中学校・中高一貫部】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

今後のオンライン教育のあり方の検討

#### 中期計画4年目達成目標／事業計画

- (1) 日常的な学習のなかに、オンラインを生かした他校との交流の実践や ZOOM を活用した遠隔授業を取り入れる。
- (2) 教員個々の実践を共有する研修会を実施する。

### 【幼稚園】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

- (1) ICT について、十全に活用し、保護者との情報共有や広報を円滑化することによって保育理解を促進するとともに、効果的な活用によって保育活動の充実を図る。

#### 中期計画4年目達成目標／事業計画

- (1) ICT システムの十全な活用
  - ① さくらシステムについて、保護者との緊密な連絡や情報共有に活用する。
  - ② さくらシステムを子どもの遊びや諸活動の広報に活用し、保護者の保育理解を促進させる。
  - ③ さくらシステムの活用により、事務の一層の効率化を図る。
  - ④ 各種メディアについて、保育場面において効果的な活用を図る。

## 17. 新型コロナウイルス感染症関連

### 【白梅学園大学・白梅学園短期大学】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

子ども・人間にかかわる幅広い分野を学ぶこと、豊かな教養の知を身につけるために必要な、人と人との出会い、交流、支え合いが生まれる場として、感染症対策を講じながら、大学における教育活動を実施していく。

#### 中期計画4年目達成目標／事業計画

- (1) 対面授業の実施と感染症対策の意識向上

対面授業を実施するにあたり、引き続き4月、9月のオリエンテーションを通して、学生自身の感染症対策に対する意識向上を図る。

### 【白梅学園高等学校】

#### 中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)

- (1) 感染対策の徹底

#### 中期計画4年目達成目標／事業計画

- (1) 必要な感染防止対策を実施する。(マスク着用、手指消毒、毎日の検温、換気など)

**【白梅学園清修中学校・中高一貫部】**

**中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)**

学校における「新しい生活様式」の確立

**中期計画4年目達成目標／事業計画**

- (1) 健康安全について、自ら考え、判断し、行動する資質・能力を育てる。
- (2) 起床時検温、登校時消毒、清掃時消毒等、100%実施する。
- (3) 学校行事ごとに、感染防止策を立案、実行する。

**【幼稚園】**

**中期計画の全体像／達成目標(2019～2023年度)**

- (1) 子ども自ら感染予防に関する習慣を身につけ、健康に対する意識をもつようにする。
- (2) 園生活において感染予防策を徹底し、保育の方法を工夫し、保護者との情報共有を十分に行う。

**中期計画4年目達成目標／事業計画**

- (1) 徹底した感染予防
  - ①教職員の感染予防を徹底するとともに、遊具や用具を含めた保育環境の衛生管理に努める。
  - ②保育や昼食における幼児同士の接触について、感染予防の点から最大限の留意を行う。
  - ③保護者への情報提供と、保護者との情報共有を十全に行い、園児や保護者の安全を守る。

#### [IV]2022 年度予算

##### 1. 予算編成方針

2022 年度の予算編成は、以下の方針に基づいて行った。

- ① 収入の範囲で予算編成を行い、マイナス予算は組まない。
- ② 財政再建策に基づき大短新棟のための建築資金を計画どおり積立てる。
- ③ 各部門の重点方針に基づく政策的に重視する項目を重点予算として編成する。

上記方針に基づき、以下のとおり予算を編成した。

- ① 収入の範囲で予算編成を行うことを念頭に、各部門にて実績額ベースの予算編成を行った。活動区分資金収支予算書における支払資金の増減額は7百万円増を見込み、マイナス予算は組まない方針を実現している。
- ② 財政再建策に基づき、教職員の賞与 1.5 ヶ月カット等及び大短新棟のための建築資金 232 百万円の積立てを予算化している。積立資金は減価償却引当特定資産に繰入れている。なお、財政再建策は計画どおりに進捗している。

##### ■大短新棟のための建築資金 年度末累計額

| 年度        | 繰入額          | 取崩額       | 年度末 累計額<br>(第2号基本金含) | 備考                             |
|-----------|--------------|-----------|----------------------|--------------------------------|
| 2017 年度決算 | 1 億円         | -         | 1 億円                 | 第2号基本金へ繰入                      |
| 2018 年度決算 | 1 億円         | -         | 2 億円                 | 第2号基本金へ繰入                      |
| 2019 年度決算 | 1,400 万円     | -         | 2 億 1,400 万円         | 減価償却引当特定資産へ繰入                  |
| 2020 年度決算 | 1 億 2,300 万円 | -         | 3 億 3,700 万円         | 減価償却引当特定資産へ繰入                  |
| 2021 年度見込 | 1 億 7,700 万円 | *3,000 万円 | 4 億 8,400 万円         | 減価償却引当特定資産へ繰入<br>減価償却引当特定資産 取崩 |
| 2022 年度予算 | 2 億 3,300 万円 | *2,000 万円 | 6 億 9,700 万円         | 減価償却引当特定資産へ繰入<br>減価償却引当特定資産 取崩 |

\*大短新棟のための費用／明豊ファシリティークス等への支払

- ③ 各部門の重点方針等に基づき政策的に重視する項目として予算編成したものは次のとおりである。

##### ■2022 年度 重点予算

| 部門 | 重点施策                                                    | 金額       |
|----|---------------------------------------------------------|----------|
| 大短 | 2024 年度 大学・短期大学改組に向けた費用<br>・改組申請のための調査費<br>・改組に向けた募集対策費 | 1,000 万円 |

施設設備費用および ICT 関連費用への予算概要は下表のとおりとなる。

■2022 年度 施設設備・ICT 予算一覧

| 部門            | 施設設備・ICT（重点予算以外）                                 | 金額       |
|---------------|--------------------------------------------------|----------|
| 大学・短期大学       | 講義配信システム整備（2,300 万円）                             | 4,350 万円 |
|               | 研究室 PC 入替（1,550 万円）、学務系システム更新（500 万円）            |          |
|               | トイレ改修                                            | 300 万円   |
| 中学・高校<br>共通   | 第二大体（小体 B）エアコン導入                                 | 1,210 万円 |
| 高校（白高）        | 遠隔授業対応（90 万円）、施設のバリアフリー化（90 万円）                  | 180 万円   |
| 中学・高校<br>（清修） | 1 人 1 台端末学園貸与追加分（320 万円）<br>ガス空調機入替（リース）（450 万円） | 770 万円   |
| 幼稚園           | 保育環境 ICT 整備（280 万円）、施設整備（400 万円）                 | 680 万円   |
| 学園全体          | マルウェア対策費（380 万円）、事務職員 PC 入替（210 万円）              | 590 万円   |
|               | 合計                                               | 8,080 万円 |

減価償却特定資産を取崩して対応するものは下表のとおりとなる。

■2022 年度 減価償却特定資産取崩して対応するもの

| 部門   | 施設設備・ICT（重点予算以外）                                              | 金額       |
|------|---------------------------------------------------------------|----------|
| 学園全体 | 第二大体防水塗装（780 万円）<br>防火設備更新（450 万円）                            | 1,230 万円 |
|      | 【大短新棟積立より取り崩し】<br>大短新棟コンサルティング料（1540 万円）<br>インフラ等調査費用（460 万円） | 2,000 万円 |
|      | 合計                                                            | 3,230 万円 |

## 2. 収支見通し

事業活動収支予算書「教育活動収支」の収入の部では、前年度 2,998 百万円であったが、30 百万円減少し、本年度は 2,968 百万円となる。大学・短期大学の入学者数が 21 名減少、清修中学の入学者数が 13 名増加したこと、高校の授業料軽減補助金の影響などにより、学生生徒等納付金が 30 百万円減少した。また、高校の授業料軽減補助金、大学・短期大学の高等教育の修学支援新制度の影響等により、経常費補助金が 36 百万円増加した。その他には退職金交付金収入が 27 百万円減少している。

支出の部では、前年度 2,956 百万円であったが、45 百万円減少し、本年度は 2,911 百万円となる。主な要因は、教職員の退職給与引当金繰入額の減少等による人件費の減少 40 百万円、高等教育の修学支援新制度の影響等による奨学費増加 14 百万円、大短新棟建設に伴うコンサル費用の減少等による、手数料の 19 百万円減少、大学・短期大学改組にむけた募集対策費計上による広報費 7 百万円の増加など。その結果、教育活動収支差額は 58 百万円の収入超過、前年度比 16 百万円の改善となる。

「教育活動外収支」は前年度とほぼ同額であり、教育活動収支と教育活動外収支の合計である「経常収支差額」は 59 百万円の収入超過、前年度比 16 百万円の改善となる。

「特別収支」については、今年度は、大短新棟のための募金 20 百万円、中高エアコン導入にかかる施設設備補助金 5 百万円を見込み、前年度比 25 百万円の収入増となり、特別収支差額は 22 百万円の収入超過となる。

「基本金組入前当年度収支差額」は経常収支差額と特別収支差額の合計で 81 百万円の収入超過、前年度比 41 百万円の改善となる。

「基本金組入額」は 23 百万円となる。第 1 号基本金は、20 年以上経過包括備品の計画除却 50 百万円を実行し、前年度比 38 百万円減少となる。大短新棟建設のための第 2 号基本金は組入れ計画の再協議中であり、3 月の理事会にて今年度も組入れをしない事を決定する。なお、大短新棟のための資金 233 百万円は、減価償却引当特定資産に組入れている。

「当年度収支差額」は、58 百万円の収入超過、前年度比 80 百万円の改善となる。

「前年度繰越収支差額」に「当年度収支差額」の合計である「翌年度繰越収支差額」は 4,517 百万円の支出超過となる。

### 3. 資金収支予算の概要

(単位：百万円)

|               | H30 決算  | H31 決算  | R2 決算   | R3 予算<br>(A) | R4 予算<br>(B) | 増減<br>(B-A) |
|---------------|---------|---------|---------|--------------|--------------|-------------|
| 学生生徒等納付金収入    | 2,020   | 2,002   | 1,973   | 2,034        | 2,003        | △30         |
| 手数料収入         | 36      | 38      | 38      | 35           | 30           | △4          |
| 寄付金収入         | 19      | 25      | 26      | 7            | 28           | 22          |
| 補助金収入         | 771     | 789     | 864     | 844          | 886          | 42          |
| 資産売却収入        | 0       | 1       | 50      | 0            | 0            | 0           |
| 付随事業・収益事業収入   | 17      | 18      | 10      | 15           | 9            | △6          |
| 受取利息・配当金収入    | 2       | 2       | 2       | 2            | 2            | 0           |
| 雑収入           | 72      | 48      | 43      | 63           | 36           | △27         |
| 借入金等収入        | 2       | 1       | 2       | 1            | 1            | 0           |
| 前受金収入         | 448     | 444     | 447     | 432          | 425          | △7          |
| その他の収入        | 845     | 665     | 681     | 607          | 628          | 21          |
| 資金収入調整勘定      | △498    | △522    | △520    | △487         | △452         | 34          |
| (当年度資金収入) ①   | (3,735) | (3,511) | (3,615) | (3,552)      | (3,596)      | 44          |
| 前年度繰越支払資金     | 623     | 766     | 771     | * 772        | * 917        | 146         |
| 収入の部合計        | 4,358   | 4,277   | 4,386   | 4,324        | 4,513        | 189         |
| 人件費支出         | 2,005   | 1,940   | 1,896   | 1,986        | 1,956        | △31         |
| 教育研究経費支出      | 510     | 554     | 569     | 627          | 614          | △13         |
| 管理経費支出        | 122     | 133     | 124     | 131          | 135          | 4           |
| 借入金等利息支出      | 2       | 2       | 1       | 1            | 0            | 0           |
| 借入金返済支出       | 81      | 81      | 52      | 23           | 22           | △1          |
| 施設関係支出        | 10      | 35      | 7       | 61           | 57           | △4          |
| 設備関係支出        | 22      | 158     | 114     | 47           | 55           | 8           |
| 資産運用支出        | 128     | 44      | 202     | 194          | 259          | 65          |
| その他の支出        | 738     | 604     | 544     | 571          | 568          | △3          |
| 資金支出調整勘定      | △25     | △45     | △37     | △90          | △78          | 12          |
| (当年度資金支出) ②   | (3,592) | (3,506) | (3,470) | (3,551)      | (3,589)      | 38          |
| 次年度繰越支払資金     | 766     | 771     | 916     | 773          | 924          | 151         |
| 支出の部合計        | 4,358   | 4,277   | 4,386   | 4,324        | 4,513        | 189         |
| (当年度資金収支) ①-② | 143     | 5       | 145     | 2            | 7            | 5           |



#### 4. 事業活動収支予算の概要

(単位：百万円)

|          |       |                    | H30 決算 | H31 決算 | R2 決算 | R3 予算 | R4 予算 | 増減  |
|----------|-------|--------------------|--------|--------|-------|-------|-------|-----|
|          |       |                    | (A)    |        |       | (B)   | (B-A) |     |
| 教育活動収支   | 収入    | 学生生徒等納付金           | 2,020  | 2,002  | 1,973 | 2,034 | 2,003 | △30 |
|          |       | 手数料                | 36     | 38     | 38    | 35    | 30    | △4  |
|          |       | 寄付金                | 9      | 15     | 26    | 8     | 9     | 2   |
|          |       | 経常費等補助金            | 771    | 757    | 847   | 844   | 881   | 37  |
|          |       | 付随事業収入             | 17     | 18     | 10    | 15    | 9     | △6  |
|          |       | 雑収入                | 72     | 48     | 43    | 63    | 36    | △27 |
|          |       | 教育活動収入計            | 2,925  | 2,877  | 2,936 | 2,998 | 2,968 | △30 |
|          | 支出    | 人件費（退職給与引当金繰入額を除く） | 1,922  | 1,889  | 1,844 | 1,912 | 1,916 | 4   |
|          |       | 退職給与引当金繰入額         | 92     | 61     | 79    | 90    | 46    | △44 |
|          |       | 教育研究経費             | 702    | 741    | 759   | 814   | 808   | △6  |
|          |       | （うち減価償却費）          | (192)  | (188)  | (190) | (187) | (194) | (6) |
|          |       | 管理経費               | 130    | 142    | 131   | 140   | 141   | 1   |
|          |       | （うち減価償却費）          | (8)    | (9)    | (7)   | (9)   | (7)   | (3) |
| 徴収不能額等   |       | 0                  | 0      | 0      | 0     | 0     | 0     |     |
| 教育活動支出計  | 2,846 | 2,833              | 2,814  | 2,956  | 2,911 | △46   |       |     |
| 教育活動収支差額 |       | 79                 | 44     | 122    | 42    | 58    | 16    |     |

|         |           |          |   |   |   |   |   |   |
|---------|-----------|----------|---|---|---|---|---|---|
| 教育活動外収支 | 収入        | 受取利息・配当金 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 0 |
|         |           | その他      | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
|         |           | 教育活動外収入計 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 0 |
|         | 支出        | 借入金等利息   | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 |
|         |           | その他      | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
|         |           | 教育活動外支出計 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 |
|         | 教育活動外収支差額 |          | 0 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 |

|        |  |  |    |    |     |    |    |    |
|--------|--|--|----|----|-----|----|----|----|
| 経常収支差額 |  |  | 79 | 45 | 123 | 43 | 59 | 16 |
|--------|--|--|----|----|-----|----|----|----|

|      |        |         |    |    |    |    |    |    |
|------|--------|---------|----|----|----|----|----|----|
| 特別収支 | 収入     | 資産売却差額  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
|      |        | 施設設備寄付金 | 0  | 10 | 1  | 0  | 20 | 20 |
|      |        | 現物寄付    | 2  | 2  | 1  | 0  | 0  | 0  |
|      |        | 施設設備補助金 | 10 | 32 | 17 | 0  | 5  | 5  |
|      |        | 過年度修正額  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
|      |        | 特別収入計   | 12 | 45 | 19 | 0  | 25 | 25 |
|      | 支出     | 資産処分差額  | 4  | 29 | 8  | 3  | 3  | 0  |
|      |        | その他     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
|      |        | 特別支出計   | 4  | 29 | 8  | 3  | 3  | 0  |
|      | 特別収支差額 |         | 8  | 15 | 11 | △3 | 22 | 25 |

|               |  |  |      |      |     |     |     |    |
|---------------|--|--|------|------|-----|-----|-----|----|
| 基本金組入前当年度収支差額 |  |  | 87   | 60   | 134 | 40  | 81  | 41 |
| 基本金組入額合計      |  |  | △211 | △217 | △68 | △62 | △23 | 39 |
| 当年度収支差額       |  |  | △124 | △156 | 66  | △22 | 58  | 80 |

|           |  |  |        |        |        |         |         |     |
|-----------|--|--|--------|--------|--------|---------|---------|-----|
| 前年度繰越収支差額 |  |  | △4,338 | △4,462 | △4,619 | *△4,677 | *△4,575 | 102 |
| 基本金取崩額    |  |  | 0      | 0      | 0      | 0       | 0       | 0   |
| 翌年度繰越収支差額 |  |  | △4.462 | △4.619 | △4.553 | △4.699  | △4.517  | 182 |

(参考)

|                |       |       |       |       |       |     |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|
| 事業活動収支計（＝帰属収入） | 2,939 | 2,940 | 2,957 | 3,000 | 2,995 | △5  |
| 事業活動支出計（＝消費支出） | 2,853 | 2,922 | 2,823 | 2,960 | 2,914 | △46 |

＊ 2021 年度予算は、2020 年度決算確定前に作成している。

2022 年度予算は、2020 年度決算を反映している。

## ■ 2022年度予算 学生生徒園児数

| 入学者数    | 定員  | 2021予算 | 2022予算 | 前年比  | 定員充足率  |
|---------|-----|--------|--------|------|--------|
| 大学(除編入) | 225 | 254    | 230    | △ 24 | 102.2% |
| 編入      | 30  | 10     | 10     | 0    | 33.3%  |
| 短大      | 95  | 90     | 85     | △ 5  | 89.5%  |
| 大学院     | 22  | 6      | 4      | △ 2  | 18.2%  |
| 大短院 計   | 372 | 360    | 329    | △ 31 | 88.4%  |
| 白高      | 280 | 279    | 280    | 1    | 100.0% |
| 清修      | 60  | 42     | 55     | 13   | 91.7%  |
| 幼稚園     | 70  | 45     | 52     | 7    | 74.3%  |
| 学園合計    | 782 | 726    | 716    | △ 10 | 91.6%  |

| 在籍者数  | 定員    | 2021予算 | 2022予算 | 前年比  | 定員充足率  |
|-------|-------|--------|--------|------|--------|
| 大学    | 960   | 983    | 964    | △ 19 | 100.4% |
| 短大    | 190   | 196    | 178    | △ 18 | 93.7%  |
| 大学院   | 51    | 34     | 30     | △ 4  | 58.8%  |
| 大短院 計 | 1,201 | 1,202  | 1,172  | △ 30 | 97.6%  |
| 白高    | 840   | 801    | 809    | 8    | 96.3%  |
| 清修    | 360   | 146    | 176    | 30   | 48.9%  |
| 幼稚園   | 210   | 154    | 154    | 0    | 73.3%  |
| 学園合計  | 2,611 | 2,303  | 2,311  | 8    | 88.5%  |

## ■ 2022年度予算 本務教職員数

|                | 2021予算 | 2022予算 | 前年比 | 参考<br>本務教職員<br>定員値 | 参考<br>2022予算と<br>定員値比較 |
|----------------|--------|--------|-----|--------------------|------------------------|
| 専任             | 46     | 46     | 0   | 46                 |                        |
| 特任             | 2      | 2      | 0   | 3                  | 欠員 1                   |
| 助教             | 6      | 6      | 0   | 5                  | 増員 1                   |
| 大短 計           | 54     | 54     | 0   | 54                 | 計± 0                   |
| 専任             | 41     | 40     | △ 1 |                    |                        |
| 常勤             | 7      | 9      | 2   |                    |                        |
| 白高 計           | 48     | 49     | 1   | 49                 |                        |
| 専任             | 11     | 12     | 1   |                    |                        |
| 常勤             | 9      | 8      | △ 1 |                    |                        |
| 清修 計           | 20     | 20     | 0   | 20                 | -                      |
| 専任             | 9      | 9      | 0   |                    |                        |
| 特別             | 2      | 1      | △ 1 |                    |                        |
| 幼稚園 計          | 11     | 10     | △ 1 | 10                 |                        |
| 専任             | 35     | 38     | 3   |                    |                        |
| 期限付き           | 9      | 5      | △ 4 |                    |                        |
| 事務 計           | 44     | 43     | △ 1 | 45                 | 欠員 2                   |
| (中高事務課有期契約職員★) |        | 4      | 4   |                    |                        |
| 学園 計 (除く★)     | 177    | 176    | -1  | 178                | 欠員 2                   |

※休職者等は人数に含み、その代替者は人数に含まない

※兼務者は人数には含まない

※定員値は2021年12月20日付常勤理事会版